

風速：1～3m/s(粉体実験時)  
 1～20m/s(環境実験時)  
 測定洞：1.0m(W)×1.0m(H)×9.0m(L)  
 主要装備：4軸トラバース，ターンテーブル，  
 粉体(雪)装置，  
 粉体(雪)回収装置

<東北工業大学 雪風洞実験装置>

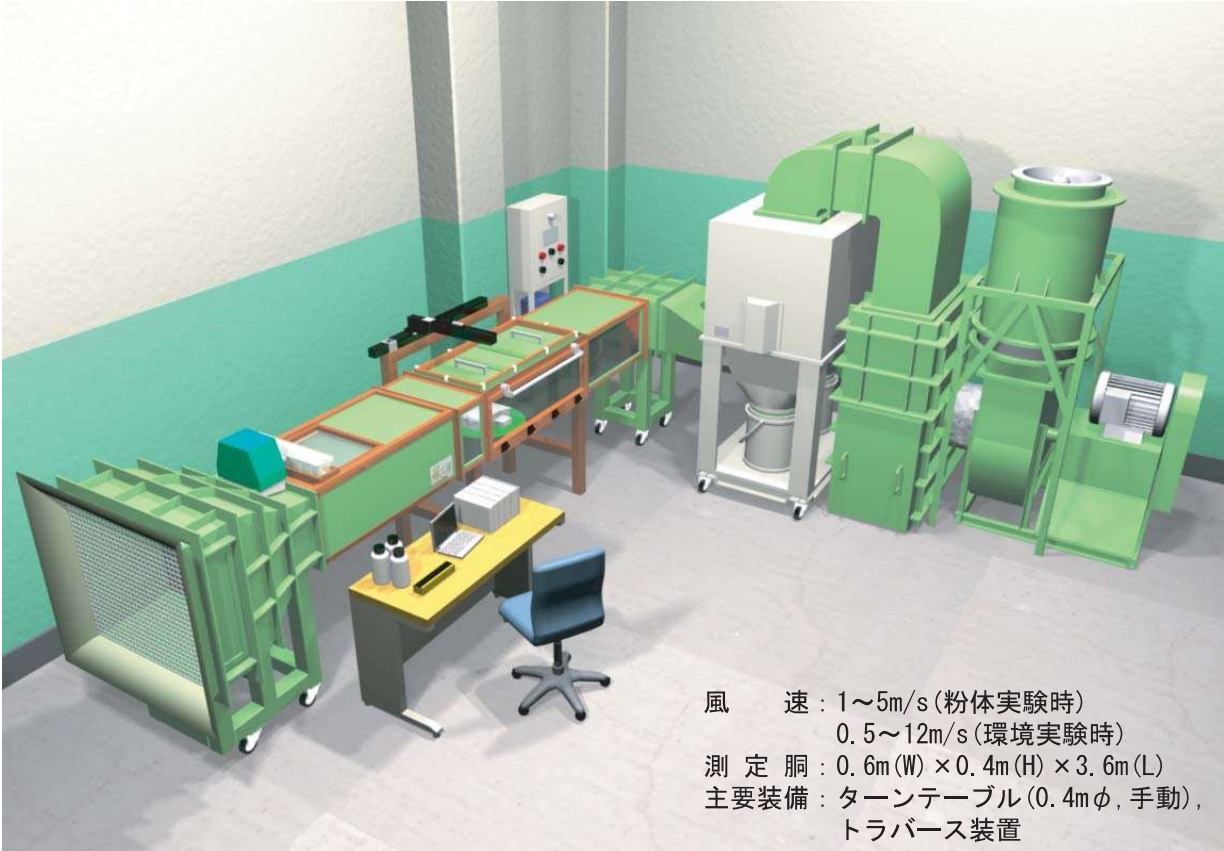
多雪地域において、屋根（構造物）にどれだけの積雪荷重が加わるかを求めることは重要ですが、その建物の周辺にどれくらいの雪が積もるか、風によって雪が運ばれてくるか（吹きだまるか）といった予測も建物を計画する際には非常に重要です。

風雪実験風洞は、降雪・有風時の構造物周辺や屋根面への積雪の状態を調査・研究するためのもので、送風機、整流部、粉体(雪)供給装置、粉体(雪)回収装置といった装置により構成されます。

実際の実験では雪の模型として活性白土やばんさいといった粉体を利用するため、粉体が風洞から漏れないように気密性を高めたり、メンテナンスが容易にできるように工夫をしています。

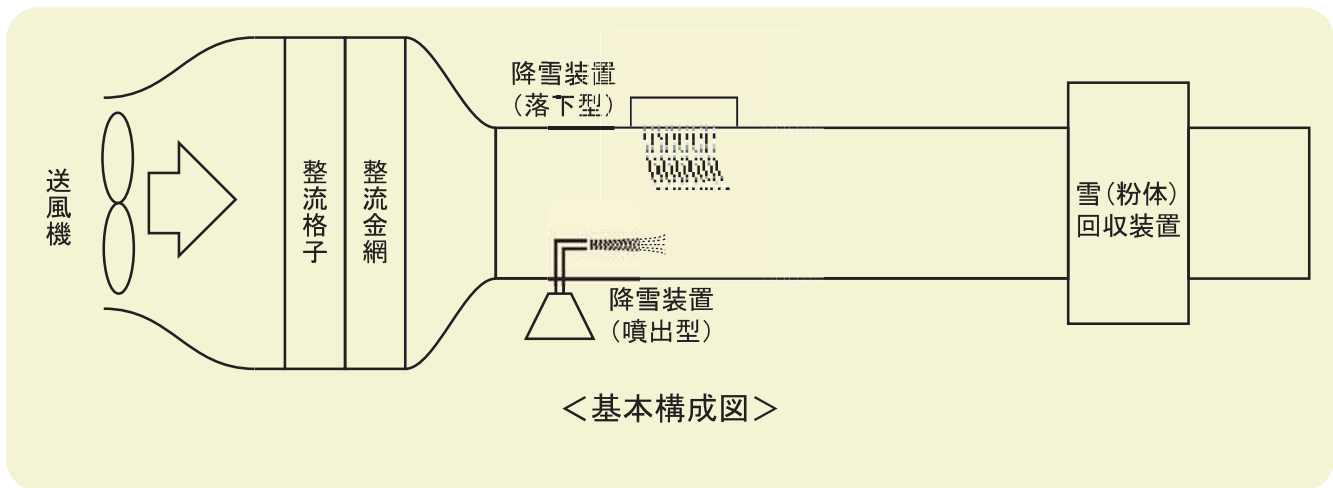
粉体を使用しない場合には一般の風洞としても利用できますので建築・土木構造物を対象とした実験も行うことができます。

主な納入先：東北工業大学  
 日本大学



風速：1～5m/s(粉体実験時)  
 0.5～12m/s(環境実験時)  
 測定洞：0.6m(W)×0.4m(H)×3.6m(L)  
 主要装備：ターンテーブル(0.4mφ,手動),  
 トラバース装置

<日本大学 吸込み式エッフェル風洞>



株式会社 風技術センター

〒131-0031 東京都墨田区墨田4丁目8番7号

TEL:03-3610-6100(代) FAX:03-3610-7200

E-mail: sales@windec.co.jp

http://www.windec.co.jp

禁無断転載 ©2017.6